

農業政策について

～ 協議しながら県に要望 ～

質

アナグマなどの小動物による被害が増加しているが、その対策は。

答 農林整備課長

小動物については、捕獲報奨金^{ほくはうしょうきん}が無いため捕獲に対する意欲も薄く、被害の抑制^{よくせい}にながっていない現状にあります。

今後、猟友会の協力を得ながら市職員による捕獲隊を結成し、地域の要望に応えていくと考えます。

また、小動物捕獲報奨金制度の創設に向け、県内他自治体と協議をしながら、県に要望をしていきたいと考えています。

質

本年産米は、水稲^{すいとう}作付配分面積を大きく下回ったとされている。

そんな中、県は有力品種として「つや姫」の作付け拡大に取り組んでいるが、今後の展望について伺う。

答 農業振興課長

本年産米の水稲作付配分面積は2781ヘクタールで、作付けはその80%の面積であり、次年度も本年同様に市全体での達成面積とすべきと考えています。

「つや姫」は、山形県が育種^{いくしゅ}・開発した品種であり、そこで、県は「大分つや姫」生産

者認定制度を設けました。

山形県は、ブランド化戦略として、栽培適地を選定し、特別栽培、または有機栽培による限定生産とし、品質と食味を生かしたブラン

ド化戦略に取り組んでいます。

こうしたことから、山形県との約束により、奨励品種として導入し、限られた条件の下で推進を図っています。



つや姫の収穫（緒方町）

質

地域コミュニティセンターの廃止は、「防災避難場所」や「地域コミュニティ」に問題はないのか。

答 市長

市民の皆さまや地域再生委員会から頂いたご意見などを参考に協議・検討を重ね、今後の地域コミュニティの活性化につなげてまいります。

※その他の質問
・滞納対策について

公共施設の見直しは

～ 頂いた意見を参考に協議 ～

オスプレイの配備と飛行訓練、市民にとって危険では

～ 大変憂慮している ～



こうじなふみひろ
神志那 文 寛

質

沖縄の普天間基地へのオスプレイ配備と日本全土での飛行訓練は、国民を大きな不安と危険にさらすと思うが、市長の見解は。

答 市長

本市上空における米軍機の低空飛行訓練は、昨年8月以降、把握しているだけでも20回にのぼり、市民の皆さまから「飛行機の底が間近に見え、墜落するかと思った」、「家が揺れて、ガラスが割れるほどだった」などの

苦情や問い合わせが市内全域から寄せられており、市民の皆さまの不安な心情を痛いほどに感じています。

その都度、大分県に飛行状況や苦情を伝え、防衛省、外務省經由で米軍に対し、低空飛行訓練の中止を訴えてきたところです。

オスプレイについては、安全性の問題が指摘されており、私も全国の自治体の首長同様、大変憂慮しています。

質

飛行ルートの九州山地を一周するルートに、犬飼の駅やインターチェンジが入っていると思われるが、これは攻撃目標に想定されているのか。

答 市長

訓練計画や飛行ルートについての通知は、本市には今のところ届いていませんので、攻

撃目標か、などの点は、今現在、把握できていません。

今後、大分県市長会などを通じて訓練計画などの公表を要求してまいります。

質

国民世論は、オスプレイ不支持が58%（時事通信）、反対70%（共同通信）にのぼっており、9月9日には沖縄県で10万人を超える配備反対の県民大会が開催された。

配備と訓練の撤回をアメリカに求めるよう、政府に要求しては。

答 市長

8月31日開催の大分県市長会秋季定例会において、本市はオスプレイの「配備計画の撤回」を求める議案を提案しましたが、日米間の防衛上の政策などを考慮し、「飛行訓練による周辺住民への影響などについて、関係自

治体に責任を持って詳細に説明することを強く要請する」と調整が行われ、大分県市長会

として九州市長会に提案するようになりました。



住宅地上空を飛ぶオスプレイ
※沖縄県 安里嗣頼様から提供（10月2日撮影）